



のびるほどっ子!

ほっとな未来へ 3C!

令和5年11月30日
横浜市立保土ヶ谷小学校
学校長 宮生 和郎

だれもが日常の幸せを感じられる世界に...

～「心はつながっている」世界に届け、平和への願い～ 校長 宮生和郎

11月後半の土日、一段と季節が進み一気に冬支度をされたご家庭も多かったのではないのでしょうか。一時収まったかに見えたインフルエンザもまたじわじわと増えてきています。インフルやコロナなどの感染症はもはや季節を問わず広がる状況にあるようです。うがい、手洗いに加え、必要に応じたマスクの着用、免疫力を高める生活習慣など、コロナ禍で学んだことを生かすときがきているようです。

さて、12月は横浜市の人権啓発月間です。日本では世界人権宣言が国連総会で採択された12月10日を最終日とする一週間を人権週間として定め、各地で人権尊重の精神を啓発する取組が行われています。横浜市立学校では、その取組をより身近なこととして捉えるためにいじめ防止啓発月間としています。本校では、12月4日の朝会で岩崎中学校を代表してよこはま子ども国際平和スピーチコンテストに参加した2年生堀内小夏さんに「自分らしさを 自由に」という演題のスピーチをしていただくことをスタートとして、各学年各学級で様々な人権尊重の精神を大切にす取組を進めていきます。

約75年前の1948年12月10日に国連総会で世界人権宣言が採択されたときは、多くの人々の命が奪われ、至る所で人権が侵害された戦争を二度と起こしてはならないと強い決意があったものと思われます。今でも世界中の人たちの間にその精神は生き続けているはずですが、残念ながら歴史的な背景がいくつもの楔^{くまび}となって主張に大きな隔たりがある国同士、民族同士では争いが絶え間なく繰り返され、大きな争いの下では、やはり多くの人々の人権が損なわれてしまっている現実があります。最近ではイスラエルとパレスチナ、ウクライナとロシアの間で起きているたいへん痛ましい現状が連日詳しく報道されており、遠い国々で起きていることとはいえ、身近に感じている人も多いのではないのでしょうか。



11月27日には横浜市教育委員会を通じて、現在ウクライナで人道支援を行っているICAジャパンの方々にお話を聞く機会をいただきました。ICAジャパンは途上国や戦時下で生活が苦しくなっている人々、特に子どもや女性のエンパワメント（応援して元気になってもらう）をしている非営利団体の方々です。当日はICAジャパンに所属するウクライナの皆さんと6名の通訳の方々が来校し3年生～6年生にウクライナの子どもたちの現状を伝えていただくとともに、私たちができるウクライナの子どもたちを応援する活動を教えてくださいました。応援の活動では一人ひとりが心を込めて模造紙に絵やメッセージをかいたり、こいのぼりの鱗に色付けをしたりしました。一人ひとりが心を込めて黙々とかいているとき体育館はとても温かい空気に包まれました。最後には、本校を代表して6年生の二人から感謝の言葉を送りました。私たちができることは少ないですが、この空気がウクライナで苦しんでいる子どもたちに届き、少しでも心が和らいていただけたら幸いです。早く争いが収まり、安心・安全な環境の中で日常にある何気ない幸せを感じることができるよう心から願ってやみません。